

# 住みたい 住み続けたい 笑顔あふれる御免町

～絆でつなぐみんなのまちに～



御免町地区福祉懇談会・御免町地区町内会長会

新発田市・社会福祉法人 新発田市社会福祉協議会

# ごあいさつ



この度、新発田市と新発田市社会福祉協議会のご協力により、御免町地区の「地区福祉活動計画」を策定させていただきました。

当地区は、商店・銀行などがある商業地と、新旧の住宅地と農村部が混在しております。そして、歴史的建造物や病院・福祉施設が多くあります。また、文教エリアや駅・図書館・市役所などが揃っており、利便性が高く、緑も適度にある暮らしやすい地域です。

この計画策定に当たり、福祉懇談会や編集委員会に各自治会・町内会の会長や役員、さまざまな地域組織の方々など多くの地域住民の皆様からご協力いただき、あらためて御礼申し上げます。

昨年の10月から福祉懇談会を3回実施し、グループでの討議を中心に話し合いを重ねるごとに、愛する御免町地区の将来は、やはり地域住民が主体となって考え、お互いに助け合える関係を築くことが大切であると感じております。

少子高齢化や人口減少、空き家の増加、担い手不足などの課題をあらためて認識し、これからの地域像を共有するなど地域としての連帯感も生まれました。

また、これらを共通の課題としてとらえ、地域で取り組むこと、一人ひとりが自ら取り組むこと、関係機関と連携して取り組むことなど、具体的な意見やアイデアを出すことができました。

この福祉活動計画を地域の皆様にご覧いただくとともに、これを機会として一緒に議論を深め、実践につなげていければと願うところです。

平成29年3月

御免町地区町内会長会 会長 水島 興治

# 目 次

|   |                          |    |
|---|--------------------------|----|
| 1 | 地域伝言板                    |    |
|   | （1）御免町の特徴                | 1  |
|   | （2）御免町地区の歴史と行事           | 2  |
| 2 | 計画の概要                    |    |
|   | （1）御免町地区福祉活動計画とは         | 3  |
|   | （2）御免町地区福祉活動計画の目的        | 3  |
|   | （3）御免町地区福祉活動計画の推進に向けて    | 3  |
|   | （4）御免町地区福祉活動計画づくりの意義     | 4  |
| 3 | 地域の魅力と現状                 |    |
|   | （1）地域の魅力について             | 5  |
|   | （2）地域の現状について             | 5  |
| 4 | 福祉活動計画                   |    |
|   | （1）基本理念（スローガン）           | 6  |
|   | （2）基本目標                  | 6  |
|   | （3）計画の実現に向けて             | 7  |
| 5 | 策定方法                     |    |
|   | （1）御免町地区福祉活動計画策定団体等      | 9  |
|   | （2）御免町地区福祉活動計画策定経過       | 10 |
|   | （3）御免町地区福祉懇談会で出された意見     | 11 |
| 6 | 参考資料                     |    |
|   | 「新発田市地域福祉（活動）計画」の基本理念と体系 | 18 |
|   | 御免町地区福祉懇談会回覧             | 20 |



# 1 地域伝言板

## 歴史・文化 観光のまち 御免町地区



### (1) 御免町の特徴

#### ◆御免町の由来

昔、この町には藩（新発田藩）のおかかえ（藩から仕事をもらって生計を立てている）の工芸師や飾り師、うるしの飾り師などが住んでいました。

苗字帯刀を許されたこの職人たちは、特別に税（金）を免税してもらっていたので、「御免町」という町名がつけられました。

～資料「ふるさとしばた」新発田市立学校教育研究協議会 編集より～

#### ◆清水園や寺町など歴史的建造物が集積する地区

諏訪町や大柴町周辺は清水園など文化財や社寺が集積し、歴史的な街なみを現在に伝えていきます。ここは市内において一番城下町らしさを残している地域であり、清水園や足軽長屋は市の観光名所になっています。

#### ◆御免町地区の主な文化財

##### 《清水園》 国指定名勝

新発田藩6万石（のちに10万石）の溝口家が12代274年間にわたり、藩を統治してきました。その下屋敷として造られた清水園は、3代藩主宣直（のぶなお）の時に高德寺の跡地に棟上げされ、27年の時を経て4代藩主重雄（しげかつ）の時に完成しました。

広い庭は、純京都風の回遊式庭園で、池の水に季節ごとの樹木の色が映えて、風情があります。書院は、寄棟造柿葺（こけらぶき：薄い木片を重ねて敷き詰めた屋根）の平屋建てで、簡素な数寄屋風の造りが特長となっており、当時の面影を偲ぶことができます（現在は鉄板葺です）。



～資料：散策マップ、清水谷散策マップ～

##### 堀部安兵衛伝承館

市内外に残る安兵衛の資料を集め、顕彰する場にしようと清水園に開設され、安兵衛直筆の長さ3メートル超の書簡や愛用の長刀、義父の堀部弥兵衛の刀、安兵衛の木像や討ち入りで使われたとされる、ほら貝などが展示されています。

##### 《足軽長屋》 国指定重要文化財

清水園に沿って流れる新発田川をへだてた路すじに足軽が居住した茅葺平屋建ての八軒長屋があります。木造茅葺の質素な建物は当時の足軽たちの暮らしぶりを感じさせられます。～資料：散策マップ～



##### 《石泉荘》（離れ屋敷・茶室…登録有形文化財） （石泉荘庭園…登録記念物）

庭の中央を新発田川が流れ、昭和の初期まで筏（いかだ）流しも行われたというのどかな時を刻んできました。

銀閣寺や京の名園修理を手がけた田中泰阿弥師が、江戸時代の名残をとどめた石組は見事であると記するほどの庭園です。



～資料：散策マップ～

##### 《長徳寺》

「忠臣蔵」赤穂四十七士の中でも名声高い堀部安兵衛は新発田生まれ。長徳寺は安兵衛父祖の菩提寺。境内には安兵衛が江戸へ発つときに植えたと言われる松の木（現在は2世）があります。山門脇には義士堂があり、四十七士の木造が収められています。

～資料：散策マップ～



## (2) 御免町地区の歴史と行事

### ◆清水谷、まちの歴史を映す新発田川

清水谷は、名前の通り清水が湧き出たことに由来するといわれます。もともと、新発田の水は金気（かなげ）が多く、飲用には新発田川の水が使われていたが、このあたりにはきれいな清水が湧き、清水園入口近くなどに井戸があったとか。その昔、新発田藩の下屋敷（現清水園）で催された茶会では、藩主や重臣たちが、湧き清水で点てたお茶を楽しんだことでしょう。



提供：新発田川を愛する会



提供：新発田川を愛する会

そして、まちなかを流れる新発田川。夏になると、青々とした水草がたゆたうこの川には、さまざまな顔があります。新発田城を守る堀となり、藩の下屋敷では庭を潤す池となりました。藩政時代から明治あたりまでは、米や材木などを運ぶ水の道であり、貴重な農業用水でした。一方、庶民の暮らしに近いところでは「川戸」と呼ばれる洗い場で、洗い物や水汲みがなされ、川岸にはところどころに鯉の生簀（いけす）があり、子ども達の泳ぐ姿も見られました。

～資料：清水谷散策マップ～

### 《諏訪神社》

「おすわさま」とよばれている新発田の総鎮守。648（大化4）年、聖籠町諏訪山に鎮座したのが始まりで、その後1756（宝暦6）年、7代新発田藩主溝口直温（なおあつ）が現在の場所に社殿を建立しました。新発田まつりは、この諏訪神社の例祭で、今でも古来の形式にのっとった神事が行われています。特にお神輿に神様の分霊を遷す「移御式（いぎょしき）」と本殿に戻す「還御式（かんばんしき）」は、全国でも数少ない儀式。また、拝殿の前には、諏訪大社から譲り受けた御柱（おんばしら）が建っています。諏訪大社の御柱祭の開催に合わせ、6年おきに建て替えられています。

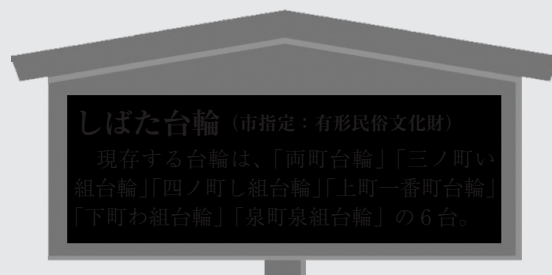
～資料：清水谷散策マップ～



### 《城下町新発田まつり》

享保11年（1726）、6代藩主直治が「諏訪神社の神事祭礼の際、にぎわいとして飾り人形の屋台を出すように」とおふれを出したことから、城下あげでの盛大な藩祭りの儀、現在のような「新発田まつり」になったと言われています。

～資料：シバタビ～



### 《旧町裏練兵場の変遷》

明治18年に新発田聯隊の兵員増加に伴い、第二練兵場として町裏練兵場（現在の新発田南高校一帯）が造成されました。終戦後、町裏練兵場付近は開墾され、昭和23年には一面の水田となりました。

その後、昭和28年に外ヶ輪中学校が第一中学校として改称及び移転（平成2年に現在地に移転）、昭和34年には御免町小学校も全面移転されました（平成3年に第一中学校跡地である現在地に移転）。

現在、御免町小学校跡地は、南公園として整備され地域の憩いの場となっています。





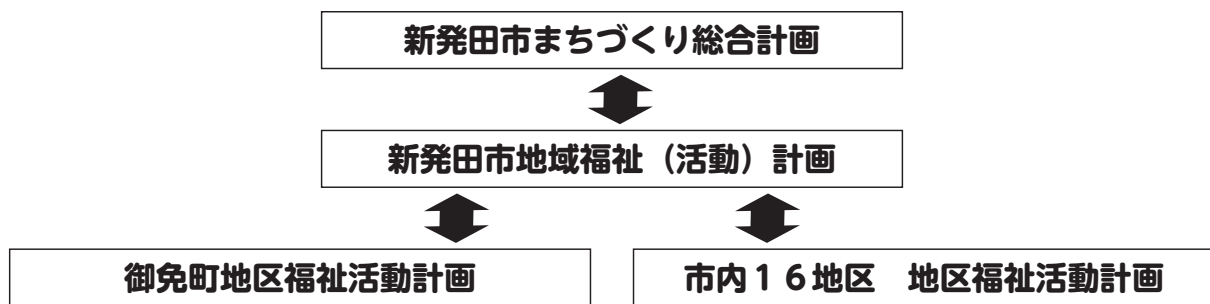
## 2 計画の概要

### (1) 御免町地区福祉活動計画とは

少子高齢化社会を迎え、社会全般が大きく変化している中、行政への市民要望は年々増大していますが、一人ひとりに適したきめ細かなサービスを行政だけの力で提供することは困難になっています。このため、市民が自立した生活をめざし、地域での福祉を「支え合い」によるシステムという新たな視点で再構築し、維持していく仕組みをつくりあげることが重要となっています。

新発田市は「まちづくり総合計画」の中で、目指すべき将来都市像を「住みよいまち日本一健康田園文化都市・しばた」としています。その基本理念の下に、新発田市地域福祉（活動）計画は、「しばたに住んで良かった。」と市民が言えるよう、地域において市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関が相互に知恵を出し、力を合わせながら、高齢者や障がい者など支援が必要な市民が地域で安心して生活を送ることができる“共生社会”の実現を目指しています。

「御免町地区福祉活動計画」は、地域の中で問題となっていること、困っていることなどを「地域みんなの問題」として捉え、話し合い、取り組んでいくための指針であり、「新発田市まちづくり総合計画」、「新発田市地域福祉（活動）計画」に基づいた計画です。



※地域福祉とは、「適切な地域を単位として」「地域住民が主体となり」「地域課題の解決に向けて」「自治会と行政なども含め」「お互いに知恵を出し合い」「支え合っていく」ことです。

### (2) 御免町地区福祉活動計画の目的

御免町地区に対する想いを語り合うことを通して、「地域の現状や課題」、「地域でできること」、「自分でできること」、「こうなったらいいな」などを一緒に考え住民主体の地域福祉づくりを市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などと連携して進めていきます。高齢者や障がい者など支援の必要な市民が地域（御免町地区）で安心して生活できる“共生社会”の実現をみんなで目指します。

### (3) 御免町地区福祉活動計画の推進に向けて

計画づくりの過程を通じ、みんなで同じ方向を向いて協働していくために、地域の課題や目標を共有しましょう。その上で、御免町地区の中長期的な目標として位置づけ、市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などが連携して取組を進めていくことが重要です。

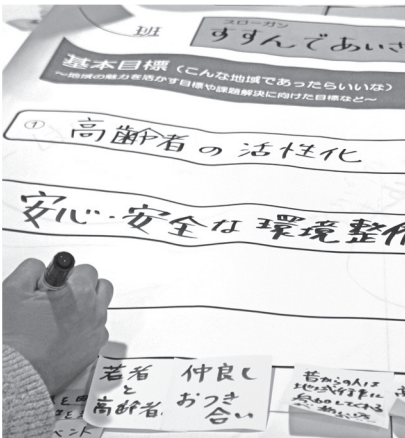
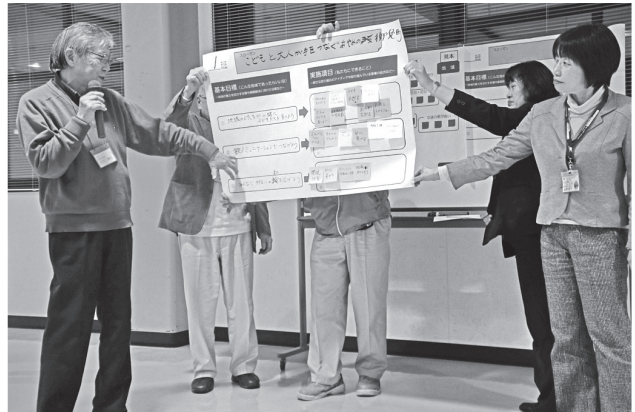


## (4) 御免町地区福祉活動計画づくりの意義

### 御免町地区福祉活動計画を地域みんなで作ることで

- ①地域の課題や目標を関係者で共有し、同じ方向を向いて協働することができます。
- ②計画を公表することで、地域の福祉活動について、広く地域住民の理解と協力が得られます。
- ③中長期的な見通しを持って、段階的・継続的に取り組んでいくことができます。
- ④活動の優先順位や重点がはっきりします。
- ⑤活動がうまく展開されてきたか振り返り、次の課題を明らかにすることができます。
- ⑥計画づくりの過程で人が育ち、地域の関係者の連帯も強くなります。

# みんなで作る御免町地区福祉活動計画





## 3 地域の魅力と現状

### 御免町地区福祉懇談会で見えてきた地域の魅力と現状

御免町地区に住んでいる子どもから高齢者まで、すべての住民が地域においていきいきとした生活を送ることは御免町地区住民のみんなの願いです。

この願いの実現に向けて、市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などが協働しながら、みんなで御免町地区福祉活動計画を策定しました。

計画策定の具体的作業として、平成28年10月～平成28年12月まで3回にわたり福祉懇談会を開催し、地域の現状や福祉に関わる様々な課題について、話し合いをまとめました。

#### (1) 地域の魅力について

- ① つながりについて
  - ・ 昔からの顔見知りが多い
  - ・ 地域のまとまりが良い
  - ・ 隣近所との交流がある
- ② 地域活動について
  - ・ 自主防災会やクラブ活動がある
  - ・ 地域のお祭りが多い
  - ・ 地域の様々な団体が活発である
  - ・ 町内会の事業でふれあいを大切にしている
- ③ 社会資源について
  - ・ 商店街がある
  - ・ 駅や病院が近い
  - ・ 歴史や文化遺産がある
  - ・ 公園が交流の場所になっている
- ④ 地域性について
  - ・ 市の中心部に近く利便性がある
  - ・ 子どもが元気である
  - ・ 台輪や神輿があるので若い人の団結力が強い
  - ・ 子ども達のあいさつが良い

#### (2) 地域の現状について

- ① つながりについて
  - ・ 人のつながりが希薄になっている
  - ・ 新しい地域と昔からの地域の交流が難しい
  - ・ 若い人との付き合いが少ない
- ② 地域について
  - ・ 昔ながらの道路で狭い
  - ・ 商店数が少なくなっている
  - ・ 空き家が増えている
- ③ 生活について
  - ・ 未婚者が増えている
  - ・ 一人暮らしの高齢者などの生活が大変になってきている
  - ・ ゴミ捨てや交通のマナーの悪い人が多い
- ④ 後継者不足について
  - ・ 少子高齢化が進んでいる
  - ・ 後継者育成が難しい





## 4 福祉活動計画

### 御免町地区福祉活動計画

#### (1) 基本理念 (スローガン)

御免町地区に住む住民一人ひとりが地域活動に積極的に関わり、お互いが個人として尊重しあい、生きがいや充実感をもちながらその人らしい生活ができることを目指していくことが大切です。こうしたことから次のとおり計画の基本理念を定めました。

**住みたい 住み続けたい 笑顔あふれる御免町**  
**～絆でつなぐみんなのまちに～**



#### (2) 基本目標

福祉懇談会で話し合われた地域の現状や福祉課題に基づき、計画の基本目標を次のとおりとしました。

|        |                    |
|--------|--------------------|
| 基本目標 1 | 安心・安全で助け合いのある御免町   |
| 基本目標 2 | みんなで支え合いの和を広げる御免町  |
| 基本目標 3 | あいさつでふれ合い笑顔が見える御免町 |
| 基本目標 4 | 誰もがいきいき暮らせる魅力ある御免町 |
| 基本目標 5 | 伝統文化を次世代に継承する御免町   |



### (3) 計画の実現に向けて

#### 目標達成の具体的な取組の例



福祉懇談会では

**自分達でどんなことができるのか**  
アイデアを出し合いました。



◆基本目標 = こんな地域であつたらいいな

◆実施項目 = 私たちにできること（取組の例）

#### 基本目標1 安心・安全で助け合いのある御免町

| 目 標 |                   | 実施項目（取組の例）  |
|-----|-------------------|---|
| 1   | 絆を深め安心な地域をつくろう    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯灯の点検、防犯カメラ設置の必要性を検討する</li> <li>・交通安全モデル地域になる</li> <li>・通学路の整備を検討する（道路の拡幅、路側帯の整備、消雪パイプなど）</li> </ul>   |
| 2   | 助け合いのある安全な地域をつくろう | <ul style="list-style-type: none"> <li>・御免町地区合同防災訓練を実施する</li> <li>・高齢者や一人暮らし宅へ防災について訪問する</li> <li>・自主防災会の普及を図る</li> <li>・行政と連携して防災意識の向上を図る</li> <li>・近所の助け合いの推進に向けて「向こう三軒両隣」の絆を深める</li> <li>・防災のモデル地区となるような取組を行う</li> </ul> |

#### 基本目標2 みんなで支え合いの和を広げる御免町

| 目 標 |                   | 実施項目（取組の例）  |
|-----|-------------------|---|
| 1   | みんなで支え合う地域をつくろう   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のみまもり隊に登録して声かけを行う</li> <li>・登下校時の子ども達の見守りを行う</li> <li>・地域活動に誰もが参画するように一人ひとりが努力する</li> </ul> |
| 2   | 思いやりのある優しい地域をつくろう | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動を活発にする</li> <li>・ごみ拾いやごみ置き場の清掃など環境美化活動を行う</li> <li>・立ち木の剪定や公園の草刈りを行う</li> </ul>       |

**基本目標3 あいさつでふれ合い笑顔が見える御免町**

| 目 標 |                    | 実施項目（取組の例）   |
|-----|--------------------|--|
| 1   | あいさつで育む地域をつくろう     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の通学路であいさつ運動を行う</li> <li>・一人ひとりが声をかけ、あいさつを行う</li> <li>・向こう三軒両隣を中心にお互い声をかけ合う</li> </ul>  |
| 2   | 互近助でふれあいのある地域をつくろう | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館や公会堂、空き家やコミュニティセンターなど地域の実情に応じたお茶の間づくりを行う</li> <li>・地域内で情報交換の場をつくる</li> <li>・老人クラブ、女性部、その他の趣味のクラブ活動の拡大を図る</li> <li>・既存の町内会や団体の取組に、誰もが参加・活用できるように柔軟な受け入れ体制をつくる</li> </ul> |

**基本目標4 誰もがいきいき暮らせる魅力ある御免町**

| 目 標 |                   | 実施項目（取組の例）   |
|-----|-------------------|--|
| 1   | 誰もがいきいきと輝く地域をつくろう | <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のラジオ体操を子ども達と一緒に実施する</li> <li>・地域で健康や体力づくりの教室を開きコミュニケーションを図る</li> </ul>                          |
| 2   | 笑顔あふれる魅力ある地域をつくろう | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会行事に積極的に参加し、世代を超えて仲良くする</li> <li>・まちづくり活性化事業を検討する（観光ボランティア、行政と連携した事業展開、町内PRの小物販売など）</li> </ul> |

**基本目標5 伝統文化を守り次世代に語り継ぐ御免町**

| 目 標 |                       | 実施項目（取組の例）  |
|-----|-----------------------|---|
| 1   | 伝統や文化を守り歴史を伝える地域をつくろう | <ul style="list-style-type: none"> <li>・台輪や獅子舞などの伝統行事を大切にする</li> <li>・地域行事のイベントを充実させて継続していく</li> <li>・時代に合った企画を作り、大勢の参加者を募る</li> <li>・金魚台輪や安兵衛太鼓などを次世代に引き継ぐ</li> <li>・地域の歴史をひもとき、伝える</li> </ul> |
| 2   | 後継者を育て元気な地域をつくろう      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会活動の活性化を図る</li> <li>・子ども達とふれあえる場をつくる</li> <li>・地域のリーダーづくりを行う</li> <li>・地域の特性を次世代に伝える・引き継ぐ</li> </ul>   |



## 5 策定方法

### (1) 御免町地区福祉活動計画策定団体等

御免町地区福祉活動計画は、御免町地区町内会長会を中心に自治会・町内会の代表者、民生委員児童委員・主任児童委員、保健自治会、御免町小・一中校区青少年健全育成会議、老人クラブ、自主防災会、いきいきサロン、小規模多機能ホームとようら、サービス付き高齢者住宅ヴァルメ豊浦、デイサービスセンター豊浦愛宕の園、新発田中央地域包括支援センター、新発田南地域包括支援センターなどの人達が福祉懇談会を開催し、地域の現状及び課題を把握して、基本目標、具体的な取組事例として策定しました。

#### ●御免町地区町内会長会

|    |             |
|----|-------------|
| 1  | 諏訪町1丁目町内会   |
| 2  | 諏訪町二丁目町内会   |
| 3  | 上鉄旭町内会      |
| 4  | 東町町内会       |
| 5  | 上町町内会       |
| 6  | 中町町内会       |
| 7  | 四之町町内会      |
| 8  | 三之町町内会      |
| 9  | 第七区町内会      |
| 10 | 大栄町5丁目町内会   |
| 11 | 両町町内会       |
| 12 | 他門町内会       |
| 13 | 下町町内会       |
| 14 | 御幸町3・4丁目町内会 |
| 15 | 上端自治会       |
| 16 | 竹園自治会       |

- 御免町地区町内会長会
- 自治会・町内会の代表者
- 民生委員児童委員
- 主任児童委員
- 保健自治会
- 御免町小・一中校区青少年健全育成会議
- 老人クラブ
- 自主防災会
- ふれあい・いきいきサロン（カフェ笹川屋）
- 小規模多機能ホームとようら
- サービス付き高齢者住宅ヴァルメ豊浦
- デイサービスセンター豊浦愛宕の園
- 新発田中央地域包括支援センター
- 新発田南地域包括支援センター  
（御免町地区担当）





## (2) 御免町地区福祉活動計画策定経過

| 年月日               | 会議等                                   | 内 容   |
|-------------------|---------------------------------------|---|
| 平成 28 年 7 月 19 日  | 打合せ<br>(ボランティアセンター)                   | ・地域福祉懇談会について<br>御免町地区町内会長会役員と事前打合せ<br>(参加者 5 名)   |
| 平成 28 年 8 月 5 日   | 御免町地区町内会長会<br>(ボランティアセンター)            | ・御免町地区福祉活動計画について説明<br>(参加者 17 名)  |
| 平成 28 年 9 月 23 日  | 第 1 回 御免町地区福祉懇談会開催案内回覧                |   |
| 平成 28 年 10 月 20 日 | 第 1 回御免町地区福祉懇談会<br><br>(地域交流センター屋内広場) | ・「御免町地区福祉活動計画」勉強会<br>グループワーク 1<br>①私たちの地域のいいところ<br>②身近なところで困っていること<br>③こんな地域であつたらいいな<br>④私たちにできること<br>・グループ発表<br>(参加者 67 名) |
| 平成 28 年 11 月 1 日  | 第 1 回 御免町地区福祉懇談会 実施報告 回覧              |   |
| 平成 28 年 11 月 17 日 | 第 2 回御免町地区福祉懇談会<br><br>(地域交流センター屋内広場) | グループワーク 2<br>前回の振り返り及びまとめ<br>地区の現状と課題の整理<br>計画の基本目標の検討<br>・グループ発表<br>(参加者 57 名)   |
| 平成 28 年 12 月 1 日  | 第 2 回 御免町地区福祉懇談会 実施報告 回覧              |   |
| 平成 28 年 12 月 15 日 | 第 3 回御免町地区福祉懇談会<br><br>(地域交流センター屋内広場) | グループワーク 3<br>前回の振り返り及びまとめ<br>基本目標の検討<br>スローガンの検討<br>・グループ発表<br>(参加者 49 名)   |
| 平成 29 年 1 月 19 日  | 第 3 回 御免町地区福祉懇談会 実施報告 回覧              |   |
| 平成 29 年 1 月 19 日  | 第 1 回編集委員会<br>(新発田市役所会議室)             | ・御免町地区福祉活動計画の基本理念、基本目標などの検討<br>(参加者 14 名)   |
| 平成 29 年 2 月 3 日   | 第 2 回編集委員会<br>(新発田市役所会議室)             | ・御免町地区福祉活動計画の目標に向けた実施項目などの検討<br>(参加者 14 名)  |
| 平成 29 年 3 月 3 日   | 第 3 回編集委員会<br>(新発田市役所会議室)             | ・御免町地区福祉活動計画(案)修正・確認等<br>(参加者 14 名)   |
| 平成 29 年 3 月       | ・御免町地区福祉活動計画完成                        |   |



### (3) 御免町地区福祉懇談会で出された意見

グループに分かれて、地域の現状や課題を共有し、地域の皆さんで支え合いの知恵を出し合いました。

懇談会で皆さんが話し合われた意見をご紹介します。(グループごとに掲載しています)

#### 1 私たちの地域のいいところ

- ・子ども達が多く活気がある
- ・昔から住んでいる家が多いので顔がよくわかる
- ・学生が協力的である
- ・子ども会が復活して組織率 95%、行事参加率 95%
- ・南公園は、掃除がよくされていて、とても良い
- ・昔からの顔見知りが多い
- ・地域住民が若い
- ・小学校周辺の環境が良い
- ・新発田まつりを介して、人との付き合い、助け合いがある
- ・町内会行事がいろいろある
- ・古い町内は、近所との付き合いがわりと良い
- ・近所の方が民生委員に「最近、買い物に出でないよ」と情報を教えてくれる
- ・子ども達に声かけすると元気に返事をしてくれる
- ・昔は川の天然プールで遊んでいた
- ・昔は地域に子どもが多かった
- ・小学校に地域の方々が多方面にわたりボランティアをしている
- ・毎月曜日に小学校の前に立ち、あいさつをして見守ってくれている(七清会…20年も続いている)
- ・歴史的に新しい地域のところがある
- ・気軽に会話できる環境である
- ・昔は歳に関係なく一緒に遊んでいた
- ・子どもなりに協力することや礼儀、道徳を学んでいる
- ・新発田川が地域に流れ、魚が住める環境にある



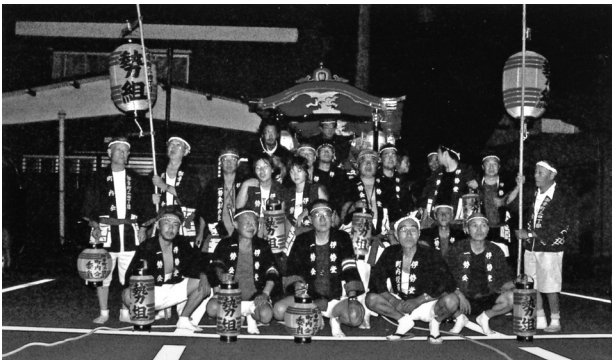
- ・町内会全体のまとまりが良い御免町地区だと思う
- ・大型商業施設が近くにあり買い物に便利である
- ・医者が近くにある
- ・小・中・高校が近い(災害時に避難場所となりうる)
- ・市の中心部に近い
- ・保健自治会がある
- ・町内会はわりと仲が良い
- ・人口が少ないわりに公共の施設が充実している
- ・自主防災会がある
- ・クラブ活動がある
- ・わりと利便性がある
- ・下町交番が近くにあり住み良い
- ・町内会に団結力がある
- ・地域包括支援センターの事務所があって良い
- ・隣近所の人との交流がある
- ・地域環境が良い
- ・台輪があるので若い人の団結力が強い
- ・昔ながらの住民なので、ほとんどの人の顔がわかる
- ・老人会がある
- ・神輿がある
- ・町内の住民数と役員数のバランスが良くうまくいっている
- ・町内会役員の仲が良い
- ・寺があり歴史を感じる
- ・諏訪神社がある
- ・昔からの付き合いがある地域





- ・隣近所で雪処理を一緒にやる
  - ・台輪を所有する町内でまとまりがある
  - ・近隣との付き合いがあり、色々と情報交換できる場があります
  - ・新発田市で最も古い地域（まとまりがある）
  - ・のどかである
  - ・小学校、高校、南公園があつて、広々としている
  - ・保育園や学校、医療機関、福祉施設がそろっている
  - ・緑も適度にあり、静かな住宅地で学校も近く、子ども達の声が聞こえて住みやすいです
  - ・どこに行くにも便利である（半径2km以内）
  - ・高齢者が住み易い（お風呂呂屋さん、スーパーも近い）
  - ・イクネスが活動を開始した
  - ・子ども会の活動が活発である
  - ・小さい町内会なので、人の顔が見える
  - ・商店街がある
  - ・病院が近い
  - ・駅が近い（人が多い）
  - ・新発田川が流れている
  - ・高齢化率が高い（高齢者も安心して暮らせる）
  - ・清水園や石泉荘、寺がある
  - ・公園がある（緑が豊か）
  - ・地域を美しくするために、地域が自ら汗をかいて活動している！
  - ・地域社会の社会性（上下関係などのルール）が育まれている
  - ・女性の会がある
  - ・町内の全ての人にチラシを配って入ってもらう、全町的な団体！助け合いの仕組み
- ・町内中央には、大きな南公園があり防災上、大変良い
  - ・スーパーが近くにある
  - ・三代が住んでいた昔ながらの農村地域で、近所のみならずで子どもの頃から遊び学んだ。悪い事をした時は、どこの親からもお叱りを受け、子ども同士の人間関係の構築ができた
  - ・行事で春の観桜会、秋のぶどう狩り等、参加人数が増えてきている
  - ・長い居住期間
  - ・商店街に住んでいるので立ち話で、ご近所にこんな事あんな事があったと話すことがあります
  - ・昔から住んでいるので、地域のつながりが良好と思われる
  - ・町内会のイベントで「ふれあい」を大切にしている
  - ・立地環境が良い
  - ・二つの高校がある
  - ・文教の街（地域）である
  - ・町内には小・中・高校があり文教地区として大変よい環境です
  - ・中心に小学校があり、元気で活気があると思います
  - ・年齢構成が広い
  - ・公園があり、幼児の公園デビュー、親や祖父母の交流の場になっている
  - ・駅や病院が近くて良い
  - ・町内会を主体に青年会、女性の会、子ども会の団体は良く協力して町内の為の活動をしている
  - ・祭りの中心
  - ・子ども達（特に小学生）の通学時における「おはよう」「こんにちは」運動が大変よく出来ている





- ・観光施設や神社、お寺が多い
- ・神社があり、お祭りがある
- ・地域活動が活発である
- ・教育に熱心である
- ・諏訪神社、お寺、清水園等、歴史的な建物が多い
- ・皆、仲が良い
- ・福祉事業所が近くにある
- ・住みやすい
- ・学校や公園がまとまった文教エリアがいい
- ・花見や芋煮会など地域の集まりが続いている
- ・町内には4、5団体が活動している
- ・台輪があり、それを中心にまとまりがあると思う
- ・運動会など楽しいことをたくさんやっている
- ・レクリエーション、BBQ等に住民が参加している
- ・スーパーが近くにあって便利である
- ・小学生とあいさつ運動をしている
- ・大通りには商店や銀行があり便利である
- ・地域内に南公園があり、子どもや高齢者の憩いの場になっている
- ・歴史がある
- ・夜が静かである
- ・にぎやかすぎず、住みやすい
- ・町内に昔から住んでいる人達が多いので嬉しい
- ・子どもの元気なあいさつ
- ・福祉懇談会の参加者が多い



## 2 身近なところで困っていること

- ・道路幅が狭く、危険が多い
- ・中間層 30～50代が手薄である
- ・少子化、高齢化
- ・下水が良く流れず、季節になると匂いが出て臭いです
- ・雪の時期、道路に自分の家の駐車場の雪を出すので、道路が半分ふさがれて、通勤時は困ります
- ・細い道路なので、デイスサービスの車の時間帯を通勤時間帯とずらしてほしい
- ・子どもが増えず、一人暮らし、高齢者二人暮らしが多い
- ・後継者育成がままならない
- ・学校が近く道路は広いが、車の速度が速く子どもや高齢者等が危ない
- ・家の前が通学路で、事故などが起きてからでは遅いので、ぜひ道路にカメラなどを取り付けてもらいたい
- ・一人暮らしの方の猫の被害や苦情がある
- ・空き家が多く管理が大変である
- ・一人暮らしの高齢者の方が比較的多い
- ・道幅が狭いので除雪作業中、通行できない
- ・高校のグラウンドからボールがよく飛んできて危ない
- ・町内の祭りや行事の後継者がいない
- ・若い人と近所付き合いがない、干渉しない生活
- ・認知症高齢者の増加
- ・高齢化が進んでいる
- ・通学路に危険箇所が多く心配である
- ・古くからの地域は道路が狭く、火災時が心配である
- ・若い人が少ない
- ・一人暮らしの高齢者が増えた
- ・空き家が増えている
- ・地区内に在籍する民生委員がいない
- ・人とのつながりが薄い（昔からの地域と新しい地域が混在している）
- ・アパートの人とのつながりがもてない
- ・大通りがシャッター通りで寂しい
- ・商店街が減少してシャッター通りになってしまった
- ・農高から御幸町へぬける道路の交通事故が心配
- ・台輪の経費が大変です
- ・若者と町内役員の温度差がある
- ・マンション住民と連絡が取りにくい



- ・アーケードが古くなり、雨漏り等があるので取り壊してほしい
- ・商店数が少なくなり、さびしくなった
- ・普通に買い物できるお店が少ない
- ・ほとんどが高齢者で子どもの声が聞こえない
- ・人口が少ないのが困るし、若い人が少ない
- ・お客が郊外の大型商業施設へ移っている
- ・町内に住む人の数が減るばかり
- ・子どもの数が少ない
- ・結婚しない人が多い
- ・高齢化していて、町内活動ができない人が多くなっている
- ・若年層の多くは町内会活動に参加しない
- ・核家族が多く高齢者世帯の増加
- ・一人暮らし世帯が増えた
- ・自主防災活動が進んでいない
- ・狭い道
- ・住宅環境として道幅が狭い
- ・道が狭いので除雪に困る
- ・高齢者の多くが除雪に困っている
- ・地域の人と、どのようにコミュニケーションをとったら良いのか分からない
- ・汚れているごみステーションがあり困っています（カラスの被害など）
- ・庁舎周辺の交通渋滞が予想される
- ・交通マナーの悪さが目立つ
- ・祭りの時の騒音やごみ問題
- ・台輪はあっても良い反面、維持管理運営に大変お金がかかる
- ・消防団に若い人が入ってこなくて高齢化する
- ・男性社会がしっかりできていて、女性が入りづらい
- ・活動の中心になる事業者が減ってしまい、活動が低下している
- ・新しい町内のため、なかなか地域に溶け込めない人が多い（特に若い人達）
- ・登下校時の安全確保
- ・都市公園が少ない
- ・地域貢献に何ができるか
- ・子ども会や青年会に参加する人が少ない為、今後の会の運営に支障が出ると思う
- ・空き家の持ち主が不明
- ・学生の通学路に危険な箇所がある
- ・老朽化の家の問題
- ・地域住民に馴染めない方の、ふれあい方が難しい（町内会費を払えるのに払う気がない）
- ・核家族化の進行
- ・目の届かない所が多い
- ・農道が生活道路になっているので、整備などの相談先に困っている
- ・高齢化が進む将来、空き家が増える、孤独死の増加の不安、火災発生の危険、町内の崩壊の不安
- ・一人暮らし世帯の方が体調の悪い時に、ごみ出しが出来ない、買い物に行けない、身の回りの家事が出来ない
- ・近所付き合いがない
- ・旧田畑用の用水路に生活排水が流れていて、汚れている
- ・子どもが少なく寂しい
- ・カラスが多い（フンの汚れ）
- ・野良猫が庭に来る
- ・町内会がないところがあるので、災害等のとき心配
- ・地域の方とのつながりかた
- ・道路の狭いところがある
- ・買い物をするところがない
- ・身寄りのない人が増えている
- ・商店が少ない（買い物難民が多い）
- ・空き家、空き地が多い
- ・ごみ出しのマナー問題
- ・ごみステーションの移動時、なかなか引き受け手がない
- ・古い借家が多い
- ・道路が狭く、L字溝で水たまりができ、虫が発生する
- ・高齢者世帯、一人暮らしが増加している
- ・高齢者が多い
- ・周りがお年寄りばかりである
- ・夜が暗い、防犯灯がない
- ・お地藏様があるが、粗末に扱われている





### 3 こんな地域であつたらいいな

- ・若い人が戻ってくる
- ・町中なので区画整理
- ・働く場所を増やす努力が必要
- ・道路（車道）の電柱が危険なので、なくしてほしい
- ・昔からある季節ごとの行事に、若い家族の方にも参加してもらいたい
- ・公園など子どもが遊ぶところが増えるといいな
- ・新発田市民は自分の街に誇りを持っている人が少ない小学生に市の特色である城下町を学ばせる事で、誇りが持てる人を多く出す
- ・子どもが集まれる場所や行事を作る
- ・負担にならない、やりがいのある役員像を作る
- ・向こう三軒両隣、お互い声をかけ合う
- ・都会の学校を出て戻らないという話を聞くので、何がこの市に必要なのか考える町でありたい
- ・子どもや高齢者にやさしい地域
- ・町内の子どもとの結びつきを深められる地域
- ・通学路の危険な場所で安全確認を行う
- ・高齢者が集えるサロン等が近くにあっていいな
- ・高齢者が目的を持って過ごせるような地域づくり
- ・老人クラブ、女性部、その他の趣味のクラブが、活躍出来たらいい
- ・商店街に、にぎわいがほしい
- ・認知症、障がい、子ども等、誰もが安心して生活できる地区！
- ・施設が立派になったので多くの人に利用して頂いて、にぎやかな地区になったらいいな
- ・空き店舗を若くてやり手の人に活用してもらおう
- ・顔の見える地域にしたい



- ・年齢を問わず気軽に立ち寄れる場所がほしい
- ・コミュニティを大事にする
- ・地域住民とコミュニケーションがとれる
- ・子ども達の明るい笑顔と笑い声が聞こえる町
- ・近くに子どもが遊べる公園があるといい
- ・駅前に駐車場が増えたので、人が集まるといいな
- ・空き地にアパートが建てられて、人が増えたらいいな
- ・町中は、人の集まりが少ないので呼び込みたい
- ・トラック市などに、もっと人を呼びたい
- ・いつも気持ちの良いあいさつが交わされる地域
- ・皆があいさつできるようになってほしい
- ・たばこの吸い殻等のマナーを守ってもらいたい
- ・中心市街地としてリーダー的地域
- ・自主防災組織ができたらいいい
- ・地域に住んでいる人の顔がわかるイベントの開催
- ・住民が互いに助け合う地域
- ・人口減少を最小限にとどめる
- ・子どもは宝だ!!
- ・防犯灯がきちんとついている地域
- ・防犯カメラがある
- ・町内会の年間の行事には、運動会、祭り、文化祭などたくさんあるが、他町内にも広げていきたい
- ・隣近所の人をお互いに気にかけてくれる地域
- ・笑顔であいさつ
- ・頼れる関係ができればいいな
- ・イベント等で近所の高齢者、親世代、孫世代（3代）のつながりの強化
- ・通学路のハード整備（消雪パイプ、道路の拡幅、路側帯の整備）
- ・気軽に参加できる地域活動
- ・明るいあいさつができる町内に





- ・老人クラブの活動の拡大をはかる（子ども達の通学時の見守り、認知症の予防行動へ）
- ・町内会の事業がたくさんあるが、参加者が増えればいいな
- ・町内会行事に子どもから大人まで参加してもらえたらいいな
- ・隣近所が、いつでも話しやすい関係になれば良いと思う
- ・気軽にあいさつができる、声かけし合える
- ・認知症があってもニコニコ
- ・常に子どもの声が聞こえるといい
- ・道路の狭い所が多いので災害等があった場合は、近所で助け合える地域
- ・子どもが増えると良い
- ・この地区に住んで、最後まで安心・安全に暮らせる地区であつたら良い
- ・あいさつが常にできるような地区
- ・子どもがいると良い
- ・隣近所の行き来がある
- ・老、壮、少、幼、全てが仲良く参加できる行事
- ・地区内の町内会の横の連携強化
- ・人と人とのつながりのある地域であつてほしい
- ・地域内に低料金で入所できる特養ホームがほしい
- ・小中学校と地域との連携強化
- ・困った時に気軽に声かけができる
- ・子どもへの声かけを、もっと活発化できればいいな
- ・平時は高齢者の憩いの場や児童が学習できる場に利用し、非常時は避難所となる所がほしい
- ・隣組制度の復活
- ・一人暮らしでも集まれる場所があつたらいいな
- ・御免町地区合同防災訓練

## 4 私たちにできること

- ・町内の整備
- ・助け合い
- ・地域みまもり隊に加入し腕章をして声かけしましょう
- ・朝のあいさつを子ども達にしていきたいと思います
- ・関係希薄な世の中なので、良い所、悪い所、見習う所などの意見交換の場をつくる
- ・買い物や道で会った時、声かけをして日頃の様子を聞き、気持ちが明るくなるようにする
- ・地域内の情報交換
- ・朝のラジオ体操を子ども達と一緒に実施し体力を維持
- ・玄関前の落ち葉等を掃いて、きれいな町づくりの実行
- ・人と人とのつながりを強化し、課題の解決の道筋をつける
- ・行政と連携し、防災意識の向上
- ・公会堂で、各種行事の開催や認知症防止スクールの実施
- ・認知症サポーター研修等を受けて、高齢者をサポート（出来る人が出来る時に）
- ・子どもに対し、地域みまもり隊に登録し活動（無理せず、できる時にできる人が）
- ・若い人に町内会行事に参加してもらう
- ・地域活動に参画するように一人ひとりが努力していく
- ・ボランティアで介護予防等の相談窓口
- ・環境美化活動（ごみ拾いなど）
- ・町内会活動の充実
- ・町内会と学校との連携
- ・人間関係をよくする
- ・隣同士の融和
- ・ご近所同士で声かけ、あいさつ
- ・町内の人とのあいさつ





- ・知らない人とあいさつをする
- ・悩んでいる人の話し相手ができる
- ・道に迷っている人に話しかける
- ・登下校時の見守り
- ・年末に一人暮らし宅へ防災の注意に回る
- ・回帰性を高めるため住環境の整備（自らの活動で行政と協働）
- ・高齢者の介護に関する相談窓口
- ・町づくり活性化事業（観光のためのボランティア、市の事業と協力、町内のPRの小物販売）
- ・町をきれいに！“ゴミひろし大会”
- ・祭りに合わせて町内行事をする
- ・地域ボランティアをしている人を、みんなで認め見習う
- ・民生委員と町内会で連携して見守りをする
- ・餅つき大会や運動会をやっている！顔の見える関係づくりの第1歩
- ・中学校3年生を送る会を続ける
- ・花市で町内会のイベントをする
- ・困った時に、いつでも専門分野につなげていけるようにする
- ・地域の見守り
- ・回覧などの全戸配布で、町内会、一勢会（青年会）、子ども会、みゆき会（女性の会）、幸友会（老人会）に入会したい方を募りたい
- ・進んであいさつをする
- ・災害時に高齢者の安全をどうするか、取り組みたい
- ・あいさつ運動
- ・地域でラジオ体操を実施し体力の向上を期待する
- ・スクールゾーン30キロ走行を心がける

- ・町内の活動に、いつも笑顔で声かけに努める
- ・通学路の除雪
- ・防災訓練の実施、みんなで意識の向上をはかる
- ・笑顔で接する
- ・身近な人達で朝のラジオ体操、その後の井戸端会議
- ・今まで以上に近所の人達に声かけをしていきたい
- ・子ども達とのふれあいの場を作っていきたい
- ・町内の人の顔を覚える
- ・ごみ置き場の清掃
- ・隣近所の人達とコミュニケーションを取りやすい雰囲気にしていきたい
- ・一人暮らしの人と仲良くする
- ・専門職を地域に巻き込む
- ・防犯灯の点検、設置の必要性
- ・認知症サポーター
- ・高齢者世帯が増加しているので今まで以上に声かけをする
- ・新興住宅地の方々との交流
- ・自主防災会の普及
- ・町内行事への参加
- ・子ども達の通学路であいさつ運動をする
- ・地域を知り共通意識を持ち、他に自慢する
- ・認知症について理解を深める活動をする
- ・近隣の一人暮らしの方への見守り
- ・道で会ったら、声をかける
- ・地域の行事に参加する
- ・「ごみ箱」を多く設置できると良い
- ・福祉懇談会のような会合（セミナー等）へ参加する



## 6 参考資料

### 「新発田市地域福祉（活動）計画」の基本理念と体系

#### 1 基本理念

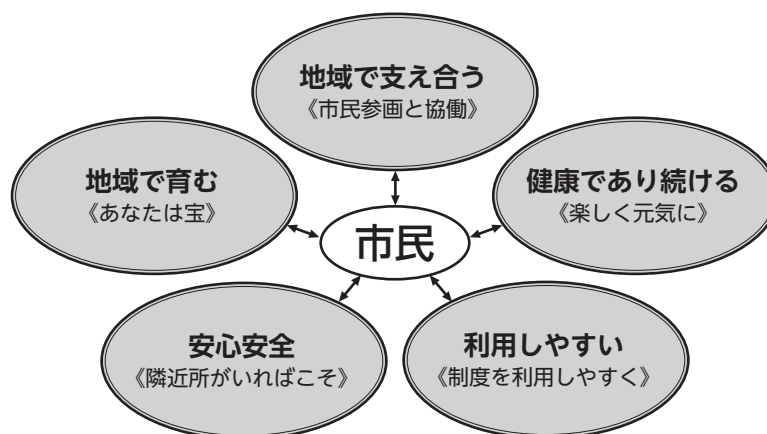
新発田市に暮らす子どもや若者から高齢者までの誰もが、新発田市の歴史と風土を大切にし、新発田市民であることを誇りに思う新たな福祉の地域づくりをめざし、新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念を次のものとしします。

### ～新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念～

すべての市民が住みなれた地域でともに支え合い  
安心して暮らせる福祉の地域づくり

※「出来るものならば、ずっと育ってきた地域で自立して生きていきたい。」だれもが望む幸せとは、このような当たり前のことではないでしょうか。

地域福祉（活動）計画は、顔の見える一定の地域を面として、「地域の市民力」「地域の資源力」「行政力」という3つの力を活かし、地域に住んでいる住民や地域で活動している民間団体や事業所が、社会生活を送るうえでお互いに支え合うというわかりやすい仕組みを、行政と協働により住民自ら創り、自ら地域の実態に即した活動を展開するためのものです。そのためには、「地域のことは地域で」（下図参照）を基本として、地域に暮らすだれもが笑顔に包まれ、自分らしく健康で自立した生活を送り、生きること喜びを見出していける地域社会の実現を目指します。



新発田市地域福祉（活動）計画は、地域福祉をより効果的に推進するため、市が策定する「地域福祉計画」と社会福祉協議会が住民とともに策定する「地域福祉活動計画」を一体化して策定したものです。新発田市及び新発田市社会福祉協議会のホームページに掲載されております。

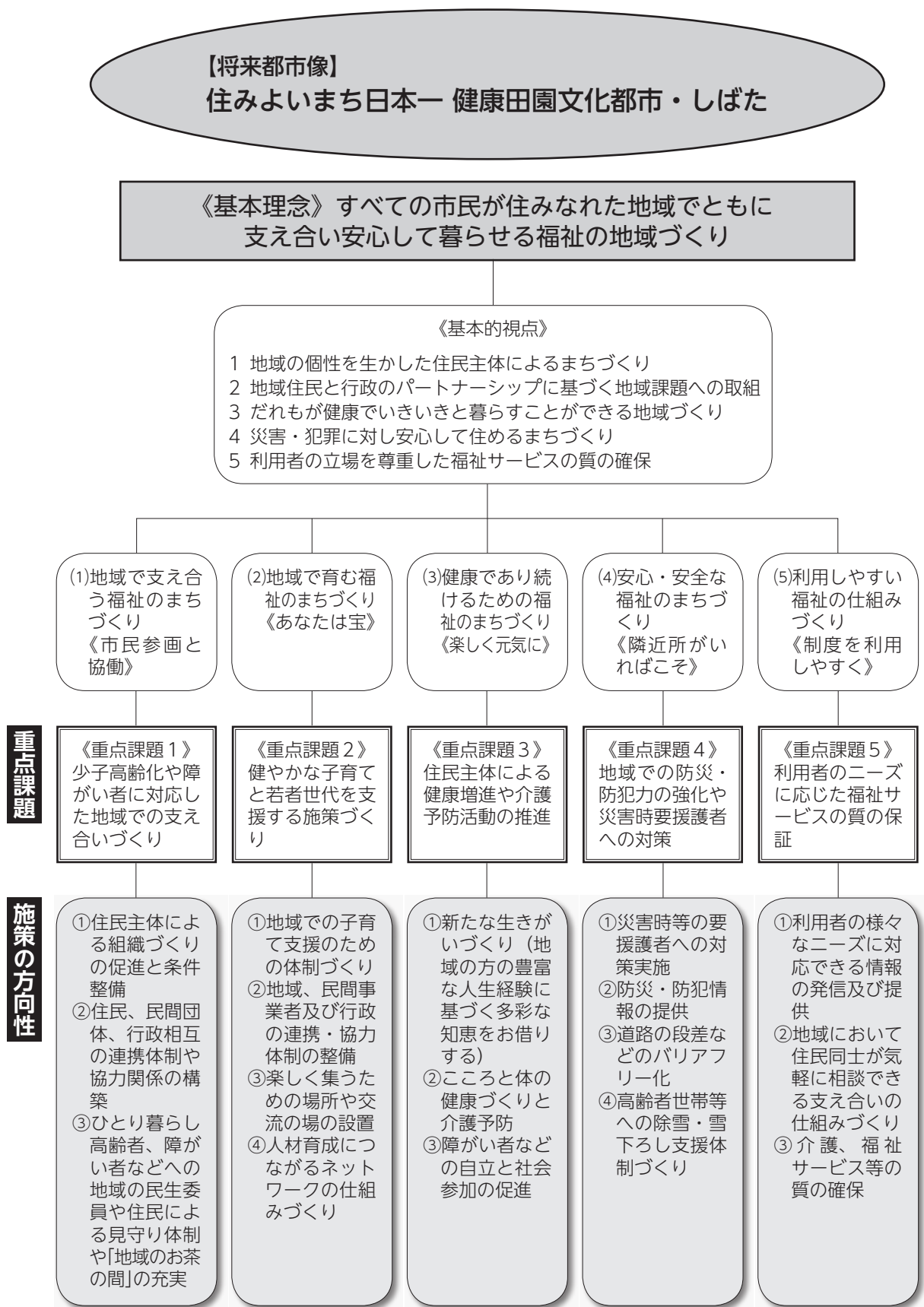
問合せ先：新発田市社会福祉課  
Tel 22-3030

新発田市社会福祉協議会  
Tel 23-1000



## 2 計画の体系

新発田市は、以下の基本理念に基づき、それぞれの重点課題について、施策を実施しながら計画の推進に取り組んでいきます。



### 誰もが住み慣れた 地域で安心して生活 を送るために

地域の人と人とのつながりを大切に  
し、お互いに助けたり助けられたりす  
る関係やその仕組みづくりを目指して



### 第1回 御免町地区福祉懇談会

日程 平成28年10月20日(木)  
会場 地域交流センター 屋内広場  
参加者 住民45人  
市・社協・包括22人

- ①開会挨拶  
御免町地区町内会長会 水島会長
- ②趣旨説明  
新発田市 社会福祉課
- ③勉強会  
新発田市社会福祉協議会
- ④グループワーク  
「魅力あふれる御免町地区を目指して」
- ⑤閉会挨拶  
御免町地区町内会長会 権瓶副会長

### 福祉活動計画の理解を深め より顔の見える関係に

これからのまちづくりは、子どもから高齢者まで住民の誰もが住み慣れた地域の中で、心豊かに安心して暮らせるような仕組みをつくり、それを持続させていくことが求められています。

そのためには、さまざまな生活課題について、住民一人ひとりの努力(自助)、住民同士の相互扶助(共助)、公的な制度

(公助)の連携によって解決していこうとする取り組みが必要です。

御免町地区福祉懇談会では、住民や関係団体、社会福祉協議会、行政が、福祉懇談会を通じて、地域の良いところや課題などを共有しながら、住民の行動計画である「御免町地区福祉活動計画」の策定を目指しています。

### 地域のすべての人が 自分らしく安心して暮らして いける地域を目指して

互いに支え合い、一人ひとりが自分たちのできる事を考え、地域福祉の基本的な考え方に基づいて、主体的に参加・協働する地域に向けて



## 第2回 御免町地区福祉懇談会

日程 平成28年11月17日(木)  
会場 地域交流センター 屋内広場  
参加者 住民37人  
市・社協・包括20人

### ①開会挨拶

御免町地区町内会長会 水島会長

### ②グループワーク

- ・前回の振り返り及びまとめ
- ・地区の現状と課題の整理
- ・基本目標の検討
- ・グループ発表

### ③閉会挨拶

御免町地区町内会長会 権瓶副会長

## ほっとけないの「気づき」を 伝える仕組みづくり

核家族化や少子高齢化によって「向こう三軒両隣」のような日本の古きよき伝統文化が姿を消しつつあります。

その結果、家族や地域とのつながりのカタチが変化し、地域の伝統文化や郷土愛も薄れ、地域資源が豊かであるにも関わらず継承が困難な状況になっています。

そのため“御免町地区福祉懇談会”では、より多くの住民に

地域への関心を持ってもらい、顔の見える地域づくりを基盤に「気づき」を伝える仕組みを目指します。

第2回懇談会では、グループごとに第1回懇談会で話し合われた4つのテーマ(地域の魅力・地域課題・これからの地域像・これから取り組めること)の内容を振り返りながら意見などを整理し、会場全体で共有しました。

### 地域のSOSを 見逃さない つながりのある 地域をつくる

地域のつながりを実感できるように身近な地域で福祉活動を活性化し、新しい地域づくりを目指します



### 第3回 御免町地区福祉懇談会

日程 平成28年12月15日(木)  
会場 地域交流センター 屋内広場  
参加者 住民31人  
市・社協・包括18人

#### ①開会挨拶

御免町地区町内会長会 水島会長

#### ②グループワーク

- ・ 前回の振り返り及びまとめ
- ・ 基本目標の検討
- ・ スローガンの検討
- ・ グループ発表

#### ⑤閉会挨拶

御免町地区町内会長会 権瓶副会長

### これからの地域を話し合い

### 誰もが参加できる取り組みを目指して

ご近所の助け合いによって支えられてきた人々の暮らしが、生活の孤立化、複合的な課題を抱える世帯の増加、地域での連帯感の希薄化などが進み、制度の谷間にあって対応できない課題も多く生じてきています。

“御免町地区福祉懇談会”では、地域の住民が主体となって地域での支え合いを図り、より一層の地域福祉活動の活性化を目指すことで、住み慣れた地域

でこれまでの社会関係を維持しながら、誰もが生きがいを持ち、一人ひとりが役割を発揮する地域づくりに向けて力を合わせる必要があります。

第3回福祉懇談会では、第2回のグループワークで話し合われた内容を振り返りながら、整理したキーワードをもとに、御免町地区福祉活動計画の基本目標やスローガンを検討しました。

# 便利帳

## 高齢者・障がいに関すること

| 内 容                     | 問合せ先                   | 電話番号         |
|-------------------------|------------------------|--------------|
| 高齢者全般及び<br>介護保険制度に関すること | 新発田中央地域包括支援センター(御免町地区) | 26-2400      |
|                         | 新発田南地域包括支援センター(御免町地区)  | 24-1111      |
|                         | 新発田市 高齢福祉課             | 22-3030 (代表) |
| 後期高齢者医療制度に関すること         | 新発田市 保険年金課             | 28-9312      |
| 障がい全般に関すること             | 緑風園相談室                 | 26-8822      |
|                         | こころの相談支援ウイング           | 28-3355      |
|                         | 新発田市 社会福祉課             | 28-9223      |
| 障がい者の就業・生活に関すること        | 障がい者就業・生活支援センターアシスト    | 23-1987      |
| 成年後見制度に関すること            | 新発田市成年後見センター           | 20-8988      |
|                         | 新発田市 高齢福祉課・社会福祉課       | 22-3030 (代表) |

## 子どもに関すること

| 内 容            | 問合せ先      | 電話番号         |
|----------------|-----------|--------------|
| 児童や子育て全般に関すること | 新発田市 こども課 | 22-3030 (代表) |
|                | 新発田児童相談所  | 26-9131      |
| 小学校            | 御免町小学校    | 22-2216      |

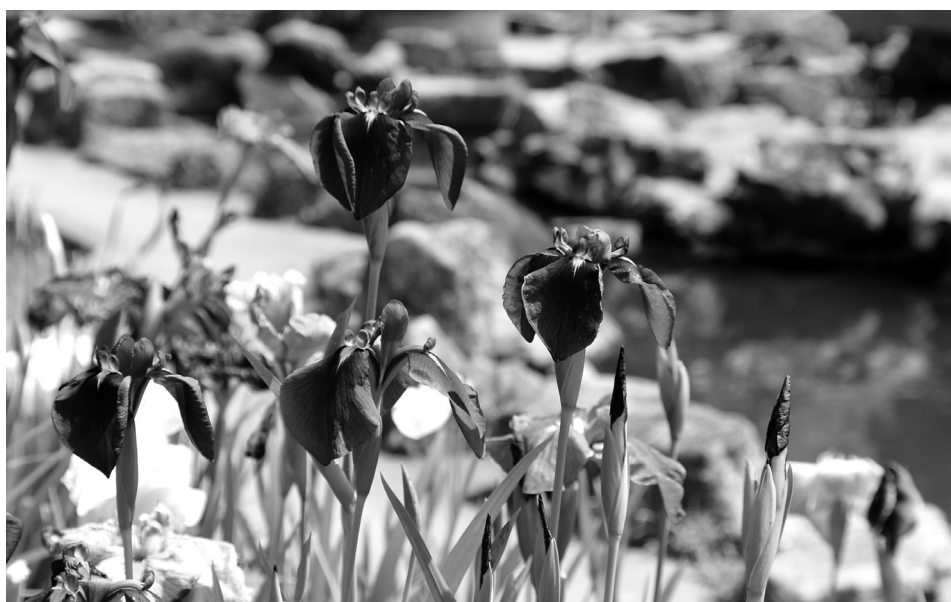
## 健康に関すること

| 内 容              | 問合せ先         | 電話番号         |
|------------------|--------------|--------------|
| 休日・夜間の急病に関すること   | 新発田地区救急診療所   | 23-8350      |
| 健康全般に関すること       | 新発田市 健康推進課   | 22-3030 (代表) |
|                  | 新発田市 健康推進課   | 28-9213      |
| 心の健康や悩みの相談に関すること | 新発田保健所       | 26-9133      |
|                  | こころの相談支援ウイング | 28-3355      |

## その他

| 内 容                  | 問合せ先             | 電話番号    |
|----------------------|------------------|---------|
| 仕事や生活の困りごとに関すること     | 新発田市 社会福祉課       | 28-9221 |
| 生活保護に関すること           |                  |         |
| 生活福祉資金に関すること         | 新発田市社会福祉協議会      | 23-1000 |
| ボランティアに関すること         |                  |         |
| ニート・ひきこもりの社会参加に関すること |                  |         |
| ニート・ひきこもりの就労相談に関すること | 下越地域若者サポートステーション | 28-8735 |

| 御免町地区編集委員 |                 |         |
|-----------|-----------------|---------|
| No.       | 所 属             | 氏 名     |
| 1         | 御免町地区町内会長会      | 水島 興治   |
| 2         | 御免町地区町内会長会      | 権瓶 利明   |
| 3         | 御免町地区町内会長会      | 米山 秀男   |
| 4         | 御免町地区町内会長会      | 渋谷 政俊   |
| 5         | 三之町町内会          | 嶋津 尚次   |
| 6         | 第七区町内会          | 久下 博司   |
| 7         | 第七区町内会          | 中村 明    |
| 8         | 第七区町内会          | 水戸部 韋三郎 |
| 9         | 第一地区民生委員児童委員協議会 | 佐々木 マチ子 |
| 10        | 第一地区民生委員児童委員協議会 | 清野 敏子   |
| 11        | 第二地区民生委員児童委員協議会 | 杉原 襟子   |
| 12        | 第三地区民生委員児童委員協議会 | 小林 幸    |





～ みんなでつながる福祉のまちづくり ～

編 集：御免町地区編集委員会・御免町地区町内会長会  
新発田市・社会福祉法人 新発田市社会福祉協議会

発 行：平成 29 年 3 月  
新発田市

〒 957 - 8686 新発田市中心 3 丁目 3 番 3 号  
社会福祉法人 新発田市社会福祉協議会

〒 957 - 0054 新発田市本町 4 丁目 16 番 83 号